

「シヤム」の話

講師 安井哲子

一、位置

「シヤム」は御存じの通り、北緯四度と廿一度、東經九十七度と百〇六度の間に位する熱帶國で、英領及佛領に隣り合つて居りますから、此國の獨立は此二大強國の勢力と大關係を有して居ます。

二、面積と人口

「シヤム」の面積は二十四萬二千五百八十七方里で、之れを朝鮮の一萬四千方里に比べますと、殆廿四倍の大きさでありますのに、人口は僅に六百萬でありますから、一千萬である朝鮮の人口よりも少くあります。之れを以ても、如何に人口の疎であるか想像されるであります。そこでは其首府たる「バンコック」は比較的の人家が稠密であります、地方は多く荒漠なる原野でありますから、自然交通機關の不完全なるも亦想像する事が出来ます。一体此國の人口を精密に調べる事は困難で、茲に申上げましたのは比較的確であると信じて居る同國政府の出版した書物から調べましたので、書物に依つては、種々の數を記るしてあります。かく不明瞭な原因は戸籍の不完全な爲めであります。今極端な一例を挙げますと、私共が曾て某海岸に避暑致して居りました折、其土地の病院で一人の患者が死亡致しました。然るに其親族も何も不明で御座いました爲めか、輕症の患者が之れを海岸に持ち行きまして、砂中に埋葬したといふ話を聞きました。之れは勿論

最極端な例でありますけれども、人民の生死が戸籍吏に届出ですにあるといふ事は之れで明らかであります。

三、温度及氣候

此國は南北に依つて温度に多少の變化がありますが、「バンコック」の附近即北緯十三度と十六度との間にては、極暑は三月と六月との間で、最高温度は凡百二度、最低は凡七十三度、平均八十五度位でありますから、想像する程には温度は高くありません。又冬期と申すほどでは御座いませんが、比較的涼しいのが一月二月頃で、袷せ「フランネル」位を着ましたが、正月に紹の紋付を着た事もありました。

右の次第でありますから、吾國の様に氣候を四季に分つ事は不適當で、寧之れを雨季と乾燥季とに分つ方が適當で御座いませう。雨季は大抵五月から十月頃まで、雨の最多いのが九月であります。私が初めて「バンコック」に着きました時は丁度乾燥期で、一滴の雨も降りませんでしめたから、早速飲料水に差支へ實に困難致しました。吾國に居りました頃は、水道にせよ、井水にせよ、充分あつて惜氣もなく多量の水を用ひましたが、かく天然に得らるべき水が得られぬといふ場合の困難は、経験なき方々の想像以外であります。丁度此時或日本の方から、大切に貯へられた雨水を大甕五個許戴きましたが、此時の嬉しさは到底茲に言ひ表はす事が出来ません。而も

是等を運搬する途中に多少覆してしまひまして、實に殘念な事を致しました。そこで雨期の來るまでは此水を大切に用ひまして、飲料と料理用の外には決して浪費せぬ様に注意致しました。

近來の様に雨が降りますと、「またも雨か」と不平を申しますが、若之れが「シャム」でありますたならば、「そら雨だ」と大騒ぎをする處であります。其故各家其富の度に應じて、「タンク」とか水甕とかを用意し、軒を傳つて流れ落ちる雨水を此中に貯へて、日々必要な分量だけを用ふるのであります。かく飲料水が容易く得られぬといふ事は、旅行に大なる不便を與へます。殊に「バンコック」を除いては、其他の地方に旅館と稱すべき者が御座いませんから、宿泊に不便のみか、田舎などに旅行する際には飲料水を携帶せねばならぬのであります。之れを以ても如何に女子の旅行に不便であるか想像されませう。

四、住民

「シャム」は實に東洋の亞米利加と申してもよろしい位に、有りとあらゆる人種が雜居して居ます。即馬來人、支那人、「ビルマ」人、「ジャバ」人、印度人、歐米人、日本人等で、其中最多いのが支那人であります。彼等の特徴は忍耐力に富む事と、能く不衛生な生活状態に耐へ得るといふ事で、中には日々道路の埃掃をして、僅の賃錢を貯へ終に商業を營んで富豪となつたといふ人などもあります。其故に金満家もあれば、銀行員もあり、豪商もあれば、勞働者もあるといふ様

に、其勢力は大なる者で、若支那人が居なければ、總ての方面に不便を感じませう。然るに悲しいかな、公使館も領事館も設けられて居りませんから、彼等は國民としては實に不幸であります。曾て私共の家に召使つて居りました支配人の「クック」が、常の如く、翌早朝の置出しの爲めに、夕方から自分の家に歸りましたが、涼みの爲め隣家の某佛蘭西人の家の前に立つて居りました。處が其佛人が出て来て、盜賊であらうと疑ひ、「ステッキ」を以て彼を打つて輕傷を負はせた上に巡查に引渡しました。かゝる出來事は夢にも知らず、翌朝も書も料理人が居らぬ爲め、「ボーアイ」が其代理をしまして、私共は如何致したのであらうかと心配して居ましたに、夕刻使の者が来て右の次第を話し、警察に拘留せられて居るから、證明狀を書いて助けてくれと申す事で御座いました。そこで私は署長にあて、「彼は二ヶ年も召使つて居るが、一回も金錢を借りた事さらなき正直者故、現行犯なれは致し方なきも、罪跡不明ならば速に放還せられたし」と申し出でました處が、直に歸つてまゐりました。然るに三四日の後裁判所に呼び出されましたが、原告たる佛人が欠席したとて其まゝ歸つて來、後三四日を経て再び呼び出されましたが、其折も出席せずとて、終に其まゝになりました。私は此時實に憤慨に堪へず、隣國人たるの好みと、一時的主從たるの關係で、義侠的に是非保護してやりたいと決心して、手を盡しましたが、何分領事館がない爲めに如何とも致す事が出來ませんでした。唯私が日本國民であるが故に、其證明書に依

つて拘留を免れたといふ事は感謝に堪へません。實に外國住居をして深く感ずるのは、強國の民と弱國の民との權利問題で、之れに依つても私は國恩の深きを感じ、日本國民と生れた事に對して、無限の感謝を爲したと同時に、何卒吾國の益強くなる様にと祈らずには居られませんでした。

五、階級

「シャム」には中流の社會がないと申しますが、實際は矢張上下のみではあります。下流の男子は多くぶら／＼生活を致して居ますが、女子は能く働きます。概して此國の女子は男子よりも敏捷で、此國の人自身も曾て「吾國では女子教育が進んで居らぬが、性來吾女子は怜憫である故、之れで丁度教育ある男子に敵する事が出来ます」と言はれたのを聞きましたが、假令眞面目で言はれたのでないとしても、幾分の事實を表はしてをりませう。

此國には又所謂奴隸の階級もありますが、決して昔の者の様ではありませんで、唯金錢を借りた代りに、返済するまで召使はるゝといふのであります。併貴族には多くの召使即奴隸が居まして、主人外出の際にお供を爲す位で、別に苦しい勞役に服するのではありません。親切な主人は年若き召使を學校に送り、秀才で、もあれば官費で洋行して高位高官に登る人もあります。

かゝる諸階級の上に超然として立つ者は僧侶で、男子は一生の中必一度は剃髪せねばならぬといふ習慣であるそうであります。現國王陛下も亦皇太子殿下にあらせられし頃、御剃髪遊ばされ

暫く寺院に住まはれましたが、私共の御世話になりました文部次官も在官のまゝ剃髪せられた事があります。此國の僧は黃衣を着、眉毛を剃り、跣足で往來を歩みます。食物は午前のみ固形体の物を用ひ、午後は液体の物のみを用ふる習慣で、而も食物は一切信者の寄附を待つのみであります。

六、服装

服装は純粹の「シャム」服としては男女の區別を殆見分ける事が出來難くあります。併上流の男女は上半身のみ西洋風の着物を用ひ、下半身は「バヌング」と名ける廣く長い絹布又は綿布を巧に纏きつるのみであります。其色は各曜日に依つて區別せられ、日曜日は赤で月曜日は黃といふ様に、其日其日で服色を變へるといふ便利な習慣を有つて居ます。尙詳しい事は寫眞で御覽に入れるとして茲に省きます。

七、女子

大抵の女兒は小學校に行つて初等教育は受けますが、高等の教育を受ける女子は、主として上流の方であります。現に私共の關係致して居ました學校にも、皇族の御方が御三方も教師としてあらせられましたが、皆西洋人の學校で教育を受けられたのであります。かゝる例は恐く世界無比であります。私はかゝる高貴の方々が、恐れ多くも御熱心に私の如き者を御助け下されし事を

深く感謝して居りますと同時に、教育の神聖といふ事を真に深く感じました。教育といふ仕事が一種の職業でなければ、如何に神聖であらうとは、私の常に感ずる處でありましたが、かゝる御身分高き方々が、御自身教師として國民を教育せられ、而も職務上私の様な身分低き外臣の下につかれて、少しも意に介されぬといふに至つては、初めて教育の理想が實現せられ得るのであります。併吾々は假令職業として、教師となつても、單に位置や俸給を得るのみの目的でなく、眞に其仕事を愛する爲めに、之れに從事して居ります時には、事實上教育の神聖なる事を意識し、又之れを實現する事が出來ませう。

八、結論

前申した事の中で最重要な點のみを概括しますと次の三條になります。

第一、熱帶國は天產物に富んで居りますから、食物や衣服に多くの費用を要しません。従つて勤勉とか、進取とか、努力との精神は養ひ難くあります。

第二、眞面目な女子を作る事は、國家の隆盛と一大關係を有して居ます。即若女子に節操がなく單に裝飾物を喜び、萬一を僥倖して高貴の婦人たらん事を希ふ時には、到底正しき結婚の成立は望まれせん。従つて心身共に健全な子女を得る事が難くなります。故に教育に依つて女子に高尚な興味を起さしめ、眞面目な人生觀を得しめる事は、國家の健全な發展を圖るに最緊急な問題

であります。

第三、教育の普及は一國の文明に大關係を有してゐます。故に上流の婦人のみ教育を受くるとか、男子のみ教育を受くるとかいふ様に、國民の或一部のみ教育を受けて、他の一部は無教育であるといふ事は、國家全體の發達進歩の上に最不利な事であります。

石鹼ノ良否ニ就テ

客員 教諭 近 藤 耕 藏

如何ナルガ良キ石鹼ナルヤトノ間ニ對シテ正シキ答ヲ與ヘントスルナラバ、先づ『何ノ目的ニ用フルトシテデアリマスカ』ト反問セネバウソ^{△△}デアリマス。其故ハ化粧用トシテ上等ナル石鹼ハ必ズシモ洗濯用トシテハ上等デハナク、洗濯用トシテ良質ノモノモ必ズシモ化粧用トシテ良質デアルトハ云ハレマセズ、又同ジク洗濯用トシテ評價スルトシテモ植物性纖維ヲ洗フニ適スルモノガ必ズシテ動物性纖維ヲ洗フニ適シテ居ラスト云フ風ニ、使用ノ目的ヲ異ニスルニツレテ同一ノ石鹼セ其評價ニ種々ノ相違ガ起ラネバナラヌカラデアリマス。ソコデ、次ニ述ベントスルトコロル専ラ化粧用トシテノ石鹼ノ良否ニ關シテデアルコトヲ先づ以テ御斷リ致シテ置キマス。

化粧用トシテ石鹼ノ良否ヲ判定スルニ致シマシテモ、ソレニハ質ノ上カラト量ノ上カラトノ二方面ヨリ考ヘテ見ル必要ガアリマス。質ノ上ノ良否ト云ヘバ其石鹼ノ中ニハ皮膚ヤ毛髮等ノ衛生上